



— 第75号 —  
 〒214-8565  
 川崎市多摩区西生田1-1-1  
 日本女子大学教育学科の会  
 電話 044 (952) 6870 (代)  
 FAX 044 (952) 6889  
 ホームページ  
<http://jwu-gakuen.net/>  
 メールアドレス  
[info@jwu-gakuen.net](mailto:info@jwu-gakuen.net)

ひめめのさい  
**第29回 日女祭**  
 10月19日(土) 20日(日)  
 午前10時〜午後5時  
 \*入場は両日共に午後3時30分まで

### ホームカミングデイ・講演会のお知らせ

会長 田中 雅文

教育学科の会では、毎年、日女祭にあわせてホームカミングデイを開催し、講演会やシンポジウムを行っています。今年、「落語の世界をWatching」カナダ人落語家から学ぶ「日本文化の魅力」と題して、桂福龍氏に落語とご講演をいただくことになりました。

桂福龍氏は、カナダのウイニペグ市ご出身の四十一歳。大学卒業後、日本文化に惹かれ、二〇〇一年に来日されました。来日後、日本の伝統と英語を融合させた「英語落語」に出会い、魅了された福龍氏は、自ら落語の台本を翻訳し、寄席で英語落語を披露されるようになります。二〇一六年十月に、桂福龍氏入門。同年十一月に、正式に桂福龍治氏の十一番目の弟子となり、「桂福龍」として関西を拠点に国内外で活動を展開されています。

現在も、手話落語を含め着々とネタを増やしている桂福龍氏の特技は、着物と羽織を縫うこと。多文化国家であるカナダで生まれ育った桂福龍氏の落語と講演を楽しみながら、日本人の価値観や美意識といった「感性」や伝統に支えられた文化や儀式、風習などの「日本の魅力」を再認識・再評価しにきませんか。皆さま、どうぞ奮ってご参加ください。

**日時** 令和元年十月十九日(土) 午後一時〜三時  
**場所** 日本女子大学西生田キャンパス九十年館A棟二階 第一会議室  
**テーマ** 落語の世界をWatching —カナダ人落語家から学ぶ日本文化の魅力—  
**講演者** 桂 福龍氏  
**司会** 齋藤 慶子(教育学科 准教授)  
**申し込み** 準備の都合上、なるべく同封のハガキで十月十日(木)までにお申し込みください。  
 (申し込み無しでの当日参加も歓迎です。)

### 提言

### 「内なる揺さぶりに従う」

教育学科教授 井上 信子

25年前、わたくしは迷いの中にいた。「ころ」を知りたい。そう思い、心理学を専攻した。だが、それは間違っていた、と思いはじめていた。漱石の「ころ」の心理分析に魅了された。やがて、禅の公案「達磨の安心」に何かを覚知した(註)。それは、本来、ころという実体などない。喜怒哀楽のその都度、喜びや哀しみの現象が起るだけだ、と教えていた。「心理学者のころ知らず」の言葉が思い起された。

小説家志望だった。文学にすべきだったかと、後悔の日々が続いた。もがいた末、ともかく「数字」の心理学を置き、「生身の人間」と向き合おうと「臨床」の師を探し、やとひとりの精神科医に出会った。その人は、それまで見て来た臨床家とは別ものだった。練られた「ぶつう」だった。初対面のわずか数時間後に、「導き」をお願いした。本当にすごい人はぶつうに見える、くらいことは経験上知っていた。だが、その人がフロイトの再来「日本の最高峰を極めた」と称される天才的治療者とは知らなかった。知っていたも、ものおじしなわたくしはお願いしたであろう。もとより他者の評価など論外であった。

1995年から診察の陪席とスーパービジョンが始まった。病弱が不安で遠出ができなかったわたくしが、鹿児島在住の師に会うために、以後四半世紀にわたり上空から桜島の頂きに挨拶をした。やっと「守破離」の難行が一巡して、臨床家として一人立ちした。しかし、わたくしはもうそこにはいない。

「時」満ちて、いま、不立文字の「禅の世界」に分け入っている。そこに、「真実の自己」の「匂い」を嗅ぎ取り、直感に従った。「志を立て、伯樂を得、やり抜いて、変わることを恐れない。」  
 そう生きて、それを学生たちに伝え、それしかできない不器用をこころで詫びてきた。だが、想えばそれは、「内なる揺さぶりに従う」という信念の徹底であった。  
 (註) 平田高士 1969, 2018 『禅の語録18 無門関』 筑摩書房 147頁



## 教育学科の会 大会報告

### 〈第一部・総会〉

総会は、会長挨拶から始められ、議長  
の選出、平成30(2018)年度事業報  
告及び各部報告、決算報告が行われまし  
た。平成30年度の主な行事として、第57  
回大会が行われ、総会の後2名の講師に  
よる「学縁の集い」が開催され、卒業生  
を囲み熱心な質疑が行われたこと、10月  
11日(木)にホームカミングデー・講演  
会(1)として、筑波大学名誉教授谷川  
彰英氏により『必見!平成の伊能忠敬に  
聞く―遊びの中の教育的意義』の講演が  
あり、10月20日(土)にホームカミング  
デー・講演会(2)として株式会社バン  
ダイの協力を得て『創造は想像以上だ!  
く出前授業とユニバーサルデザインでつ  
くる未来』の講演と実技があったこと  
が報告されました。また、12月22日(土)  
に第36回懇話会が開催され、東京学芸大  
学名誉教授松矢勝宏氏により、『障がい  
者がはたらくことについて―すべての  
人が働きやすい社会にするために』の講  
演があり、働くというのにはすべての人に  
とって社会に参加する一つの形であり、  
人生を自分らしく生きるために必要で  
あると話していただきました。3月には  
『人間研究』第55号が発行され、会報『董』  
第73号が9月に、第74号が3月に発行さ  
れました。

また、「日本女子大学教育学科の会奨  
励賞」が郭明氏に授与されました。

その他、役員を選出、令和元(2019)  
年度事業計画、およびそれに伴う予算案  
が可決されました。また、退任役員への  
謝辞・挨拶が行われました。

【浦野 敬子(25回生)】

### 〈第2部・学縁の集い〉

今回の「学縁の集い」は卒業生の方を  
3名お招きし、ご講演をしていただきま  
した。さまざまな方面でご活躍されてい  
る先輩方から、学生時代の生活、就職に  
ついて、現在の職場についてなど、貴重  
なお話をしていただきました。全体への  
ご講演の後は、学生によるグループワー  
クが行われ、先輩方との質疑応答を重ね  
ることで内容を深めることができました。  
まだ入学したばかりの1年生から就  
職活動の最中である4年生まで、これか  
らの学生生活において参考になる大変有  
意義な会となりました。

#### 〈赤塚国子さん(24回生)〉

赤塚さんは、2017年度まで教育学  
科の会の理事をされており、38年間小学  
校の教員を勤められた後、現在は日本語  
ボランティア、音訳ボランティアとして  
ご活躍されています。

ご講演では主に小学校教員時代につい  
てお話しいただきました。初任時代は、  
自信がなく不安でしたが、「聞くは一時  
の恥、聞かぬは一生の恥」として、わか  
らないことは何事も質問し、良いと思っ  
たことは真似をしていったそうです。時  
が経ち赤塚さんはご結婚し、家庭を築く

ことになった時に、教員として、そして  
母親としての両立に苦労されたそうで  
す。忙しい日々の中で、限られた時間で  
今自分がすべきことは何か考え、一つ一  
つこなしていくことが大切だとお話しし  
てくださいました。

赤塚さんは、現在は日本語ボランティ  
ア、音訳ボランティアとしてご活動され  
ています。教員時代に外国人の子どもが  
増えてきた時に、教える上で教科書と実  
際の会話との間で差を感じ、どうすれば  
上手く伝えられるだろうかと思われた  
のがきっかけだそうです。ボランティア  
教室では中国人やフィリピン人の方な  
どが通われているそうですが、赤塚さん  
自身がその方達から学ぶことも多くあ  
り、尊敬しているとお話ししてください  
ました。

学生に向けては、健康を第一に、真剣  
に自分の学びたいことを学ぶことが大切  
だとアドバイスしていただきました。い  
くつになられても学び続ける姿勢がとて  
も素敵だと感じました。

#### 〈須藤かおりさん(62回生)〉

須藤さんは、現在小学校教員8年目  
で、東京都の公立小学校に勤められてい  
ます。

ご講演では、主に学生時代の過ごし方  
についてお話ししていただきました。学  
生時代は大学の授業以外にも、サークル、  
アルバイトなどに励まれていたそう  
です。授業の中で一番印象に残っている  
のは社会科教材研究で、国会についての

単元を担当されました。どうすればわか  
りやすく教えられるかをグループで考  
え、実際に現場に見学しにいたり、紙  
で模型を作ったりしたそうです。この教  
材研究で学んだことが、今の授業づくり  
にも役立っているとお話ししていただき  
ました。

また須藤さんは、小・中学生に向けた  
環境教育の出前授業のボランティアを1  
年生の夏休みから取り組まれていたそう  
です。週末に授業の研究会が行われ、授  
業をより良くするために試行錯誤を重ね  
ていかれました。3年生の教育実習で  
は、ここでの経験があったため、自信を  
持って臨めたそうです。現在もこのボラ  
ンティアには関わられており、理事長の  
方や同期のメンバーと相談されたり、教



赤塚さん

須藤さん

松澤さん



員の目線からの意見を共有したりなど、新たな学びを得ているとお話ししてくださいました。

学生に向けては、本を読んだり研究会に参加したりして常に学び続けること、人との繋がりを大切にすることが重要だとアドバイスしていただきました。目の前のことを一生懸命に取り組まれる須藤さんの姿勢は、いかなる時でも大切だと感じました。

〈松澤里奈さん(69回生)〉

松澤さんは、現在は東京都特別区の公務員として勤められており、ご講演では公務員になろうと思われたきっかけ、公務員の業務などをお話ししていただきました。

1年生は先生になりたいという漠然とした目標で、授業も何となく受けられていたそうですが、2年生に上がり教科ごとの授業を受けたり、実際に小学校に行くうちに、本当に教員に向いているか考え直されました。そこで、様々な業務に携わりつつも、教育に関わることでできる公務員を目指そうと決意されたそうです。大学の授業では、国際教育学や異文化相互理解実地研究に参加して視野を広げたり、プロジェクト実践演習で、プレゼンテーション能力や相手方への交渉の仕方などを学ばれたりし、ここでの経験が今にも活かしているとお話ししていただきました。

現在の仕事は、学校給食についての業務に携わっているそうで、献立の栄養値

チェック、栄養士の給料確認・採用、子ども達の関心を引くような給食作りに取り組んでいるそうです。最終的には教員にはなられませんが、教員免許を持つているので現場とのやり取りが円滑に行えるし、実際に学校に行き、そこで得た視点があるからこそ見えてくる改善点があるとお話ししてくださいました。

学生に向けては、大学生の間にいるいろいろな体験をし、あらかじめ社会を知っておくこと、様々な視点を得ることが大切であるとアドバイスしていただきました。教員が就職で迷っている学生も多い中、松澤さんの実体験に基づいたお話は大変貴重なもので、参考になりました。

感想

今回は幅広い年代、職業のお三方にお話ししていただきました。どれも実際の現場を経験されてきたからこそのお話で、私たち学生にとっても大変学びが得られたと思います。お三方に共通していられるのは、いつまでも常に学び続けるという姿勢で、時代と共に変化する教育に携わる者として、一番大切なことなのではないかと思いました。お忙しい中ご講演していただき、ありがとうございます。

【教育学科3年 山崎有紗】

懇話会のお知らせ

これからの救急のはなしをしよう

日時 11月30日(土) 13時~15時  
会場 日本女子大学目白キャンパス 百年館103教室  
講師 湘南鎌倉総合病院  
救命救急センター長 山上浩先生

「これからの救急のはなしをしよう」

会費 無料

申し込み 同封のハガキまたは直接会場へ

問い合わせ 中込 知野(文化部 37回生)

☎ 080(3087)8363

✉ nakagomechino@gmail.com

山上先生のご経歴

- 2003年 福井大学医学部卒業
- 2006年 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科
- 2012年 同部長
- 2018年 日本救急医学会指導医 湘南鎌倉総合病院
- 2019年 救命救急センター長

ご出演

誰にとつても身近なはずの医療の世界。実は知らない事が沢山あります。「治療と延命の違いは何?」「救急車で運ばれたらどうする?」といった備えについてを最先端の救命医療の現場でご活躍の先生にお話し頂きます。





## 奨励賞を受賞して

恵まれた学習環境で得られた

貴重な留学経験・人生を変えた恩師との出会い

日本女子大学学術研究員 郭明

この度は、教育学科の会より「奨励賞」を頂きまして大変光栄に存じます。心より感謝申し上げます。このような榮譽ある賞をいただくことができたのは、多くの先生方及び日本語をご指導頂いた諸先生方からのご指導の賜物です。

私は、中国の高校を卒業して、日本に留学しました。日本に渡ってからまず日本語学校に2年通い、その後日本の難関大学合格を目指して、外国人留学生を対象とした専門学校に1年通いました。日本女子大学に入学してから、11年間学生



として教育学に関する幅広い知識を得ることができました。青少年指導論の研究を進めていくうちに、教育社会学、地理教育学へ関心が広がりました。

日本女子大学の恵まれた環境で、周囲のご協力や指導教授のご指導が心温かく、お支え頂きました。出産後休学せずに学問を続けられたことも、指導する先生方の理解と惜しみない支援があったことで、精力的に研究を深め、学び続けられてきました。

学位論文の題目は、「現代中国中等

地理教育の動向—[ESD]と[GIS教育]を通して—」です。本研究では、中国本土の現代中等地理教育の動向について、教育課程、学習内容、指導法を中心に、ESD (Education for Sustainable Development) 持続可能な開発のための教育) および GIS (Geographic Information System) 地理情報システム) 教育の視点で分析・検討しました。

本研究を進めるに当たり、多くのご指導とご鞭撻を賜りました恩師である田部俊充先生に深く感謝申し上げます。田部俊充先生には、研究全般にわたって終始多大で熱心なご指導を賜りました。

また、本研究を遂行するにあたり、研究のテーマ設定や進め方、分析、取りまとめ、さらに、学会論文の執筆、学術論文の作成に至るすべての過程で、田部俊充先生から主査としてきめ細かなご配慮と心強いご助言を賜りました。

田部俊充先生のもとで、研究に対する基本的姿勢や厳格なる態度などについてご教示を賜りました。これから研究者としての道を歩むにあたり、非常に大切な財産です。

審査では、主査を田部俊充先生に、副査を齋藤慶子先生と丸林実千代先生に、また、外部審査委員(副査)を池俊介先生(早稲田大学教授)、井田仁康先生(筑波大学教授)に貴重なご指導とご鞭撻を賜りました。そして、田部俊充先生をはじめとする、定年退職された元の指導教授である岩木秀夫先生、及び、日本女子大学人間社会研究科教育学専攻の諸先

生方より懇切丁寧できめ細かいご示唆を賜りました。この場を借りて先生方から心より感謝申し上げます。

私はまだまだ視野が狭く、失敗も多い人間なのですが、これからは教育に携わる者としての自覚と責任をより強く持つて、少しずつでも日本の社会に貢献し、日本と中国の架け橋になりたいと思っております。また今後とも皆様の厳しいご指導とご鞭撻のほどを、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 訂正とお詫び

「葦」74号に誤りがありましたので訂正いたします。

5ページ「懇話会の報告」記事中3段目 後ろから4行目

(誤)「くは78歳の私もキャリアの途中といえるのです。

障がい形成のある子どもたちのの〜」

(正)「くは78歳の私もキャリア形成の途中といえるのです。

障がいのある子どもたちの〜」

ご講演いただいた松矢勝宏先生、会員の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫びいたします。



### 先輩にインタビュー



今回は、教育学科66回生であり人材紹介会社にお勤めの有馬和さんにインタビューさせて頂きました。有馬さんは丸林先生のゼミに所属、卒業論文では日本の昔話の変遷をテーマとし、昔話の現代化について執筆されました。幼稚園と小学校免許を取得し、就職活動では幅広い業種を受けられた末に人材紹介会社に勤められました。



**★教育学科での学びにおいて企業に就職しても役立つことはありますか。**  
 大学では先生になるための知識を学ぶだけでなく、教育実習やインターン、模擬授業を通して「コミュニケーション力」「段取り力」が身に付きました。現

在の仕事でもこれらの力が活かしていると感じます。また、教育学科には真面目に取り組む姿勢の方が多く、グループ活動で時には意見が食い違うこともありましたが、しかし様々な考え方に耳を傾けることでより良いものが生まれることを学べました。社会に出ると更に様々な価値観の方に出会うので大学の内にその大切さを学ぶことができて良かったです。

**★学生生活で特に力を入れたことはなんでしょうか。**

アルバイトには特に力を入れていました。職場を決める時に苦手を克服するため、3つの基準を置きました。①初めて会う人が苦手↓多くの人と関わる職場②年上の人が苦手↓仲間の年齢が幅広い職場③人前で話すのが苦手↓度胸が身につく職場の3点です。この基準を基に選んだ遊園地でのアルバイトは、就職が企業でも教師でも自分の糧となる経験だと思い、苦手を克服に向けて大学4年間続けました。アルバイトを、お金を稼ぐ手段だけにせず目標を持って続けたことで、より有意義なものとなりましたし、これらを克服し就職した結果、良いスタートダッシュを切ることができたと感じています。

**★就職で今の企業を選ばれた理由はなんですか。**

何が適性なのか、何をしたいのか就職活動が始まって分からずにいました。そのため幅広い業種や職種を受けました。数社内定を頂いた後、仕事内

容や会社の将来性、雰囲気と比較して選んだのが今の企業です。最終的な決め手は勧められた仕事をやってみたくと思ったからです。幅広い職種にエンターシーしましたが、その仕事は全く念頭になかったので勧められたときは悩みました。ですが、社会に出て何年も経っている方たちが、私の適性を見て勧められていたのならやってみたくて思い決め手となりました。

**★今のお仕事でのやりがい、楽しさ、また大変なことはなんですか。**

やりがいつて何々と入社1年ぐらいは本当に悩みました。無我夢中で仕事をし、徐々にやりがいを見つけられました。今は、先回りして仕事をこなせた時や、会社が大きくなるのが嬉しいです。同時に多くの仕事を任せられるときは大変です。複数の仕事を同時進行するときはより段取りよく進めていかななくてはなりません。私の会社では部活があり月に一度は仕事帰りに仲間たちとフットサルをしています。他部署の人や他事業所の人とも関わることができ、楽しい時間です。

**★学生のうちにやっておいた方が良いことがあれば教えてください。**

色々な経験をして欲しいです！企業にもよるとは思いますが、学生の時より自由な時間の取得が難しくなりまし。今ある時間を有意義に使って様々なことにチャレンジして欲しいと思います。

**★教育学科の学生へメッセージをお願いします。**

就職活動前に将来何がしたいのか明確に決まってい、その職業に就けたら幸せなことだと思います。ですが私のように明確に決まっていなくても就職活動でも、道が拓けました。どうしようと思っっている方はまずは行動してみるのが一番かもしれません。卒業して3年が経ちましたが、大学時代の友人とは今も頻りに会っては楽しい時間を過ごしています。日本女子大学に入學して良かったと思うばかりです。

**★インタビューを終えて**

今回、自身の将来の展望について不安を感じる時期にこのようなお話を伺うことができ、大変貴重な機会となりました。インタビューを通して、目標が明確に決まっていなくても自己と向き合い、目の前の課題に懸命に取り組む大切さを学びました。有馬さんとはとても行動力のある方だとお話を伺って感じたのですが、それは学生生活においてあらゆることに励まれていたからこそ、いざという時に柔軟に動くことが出来るのだと思いました。

私も現在進路に迷いがある中でも、今の学習を必ず自分の力に出来るよう日々精進していきたいと思えます。最後に、お忙しい中インタビューに答えてくださった有馬和さんに心より感謝申し上げます。

【教育学科3年 庄 夏澄】



日本女子大学教育学科の会  
平成30年度決算書(平成30年5月1日～平成31年4月30日)  
令和1年度予算書

## 収入の部

項目	平成30年度			令和1年度
	予算	決算	差額	予算(案)
入会金	100,000	103,000	3,000	100,000
会費	2,300,000	2,322,000	22,000	2,980,803
受取利息	10	7	3	7
収入の部合計	2,400,010	2,425,007	24,997	3,080,800

## 支出の部

項目	平成30年度			令和1年度
	予算	決算	差額	予算(案)
奨励金	60,000	0	60,000	30,000
印刷費				
人間研究(550部)	300,000	292,248	7,752	300,000
会報	500,000	508,831	-8,831	500,000
名簿	10,000	0	10,000	10,000
名簿データ管理料	130,000	130,593	-593	130,000
大会	140,000	97,906	42,094	140,000
懇話会	140,000	84,707	55,293	140,000
ホームカミングデー	60,000	66,305	-6,305	60,000
理事会等運営費(会議費)	80,000	75,271	4,729	80,000
活動費				
研究室委員会	220,000	231,300	-11,300	220,000
学生委員会	50,000	21,088	28,912	50,000
回生委員会	140,000	99,162	40,838	140,000
総務部	54,000	56,118	-2,118	60,000
会計部	35,000	16,518	18,482	30,000
会員部	13,000	16,332	-3,332	13,800
庶務部	54,000	49,468	4,532	52,000
文化部	20,000	9,230	10,770	20,000
会報編集部	100,000	81,808	18,192	100,000
研究誌編集部	40,000	0	40,000	40,000
研究室経費	40,000	17,661	22,339	40,000
送料・通信費(会報発送委託費)	800,000	821,085	-21,085	800,000
事務・消耗品費(会報ハガキ印刷代含む)	30,000	24,655	5,345	30,000
雑費(卒業生ボールペン代)	20,000	9,900	10,100	10,000
ホームページ(サイト保守・レンタルサーバー代)	65,000	63,402	1,598	65,000
桃柿育英会(震災義援金)	20,000	20,000	0	20,000
支出の部合計	3,121,000	2,793,588	327,412	3,080,800

平成30年度収支差額	-366,581
前年度からの繰越金	5,762,778
次年度への繰越金	5,394,197

上記のとおり報告いたします。

令和1年5月25日

教育学科の会 会長 田中雅文

会計 菊地康子

森岡美千

上記について慎重に監査した結果いずれも適正かつ妥当なものと認めます。

監事 古戸のぶ

片山直美

**【2019年度 教育学科の会】理事** (数字) は回生

<b>【会長】</b>	田中 雅文	<b>【学生委員】</b>	
<b>【副会長】</b>	浦野 敬子 (25) 大森 桃子 (26)	学部1年	内橋 舞子 江嶋 七海 木村 麻梨愛 佐藤 未果 福谷 奏絵 船山 あかり 松本 未音 山崎 舞夕
<b>【研究室委員会】</b>	清水 睦美 大谷 洋貴	学部2年	井形 桃子 薄田 紗矢香 柏木 佳苗 上山 柚果 小路 詩 永園 彩奈 宮部 紅音 和田 日菜子
<b>【回生委員会】</b>	委員長 萩野 厚美 (25) 副委員長 宇野 儀子 (25)	学部3年	岩瀬 万弓 (委員長) 奥平 明日香 (企画・交渉) 小田木 咲子 (会計) 門倉 咲 (企画・運営) 亀井 璃子 (企画・運営) 下田 朱莉 (広報) 庄 夏澄 (広報) 武田 結衣 (企画・運営) 山口 真彩 (企画・交渉) 山崎 有紗 (広報)
<b>【総務部】</b>	部長 増山 在子 (27)		
<b>【会計部】</b>	部長 菊地 康子 (26) 副部長 森岡 美千子 (26)		
<b>【会員部】</b>	部長 松尾 里羽子 (31) 副部長 青木 紀子 (31)		
<b>【庶務部】</b>	部長 杉山 京子 (27)		
<b>【会報編集部】</b>	部長 石井 美奈子 (38)		
<b>【文化部】</b>	部長 中込 知野 (37) 副部長 赤塚 国子 (24)	学部4年	小澤 里佳子 木村 早紀子 島崎 郁美 鈴木 里奈 関口 美花 羽生田 莉央 藤本 笑里 松本 かの子 三木 咲慶 渡邊 亜美
		大学院	戸澤 真澄
		<b>【監事】</b>	古戸 のぶ子 (27) 吉賀 真理子 (30)

**目白キャンパス見学会のご案内**

今春、創立120周年記念事業の一環として新しい図書館が完成したのを機に、目白キャンパスの見学会を企画いたしました。未来へ向け、ますます大きく変わりゆく学びの地を訪ねてみませんか。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 11月12日(火) 13時 日本女子大学目白キャンパス  
正門警備員室前集合  
15時頃 新図書館で自由解散の予定

見学場所 成瀬記念館、分館(成瀬仁蔵先生旧宅)、成瀬記念講堂(昨秋耐震改修工事が完了)、  
泉フロートガーデン(百年館屋上庭園)、新図書館

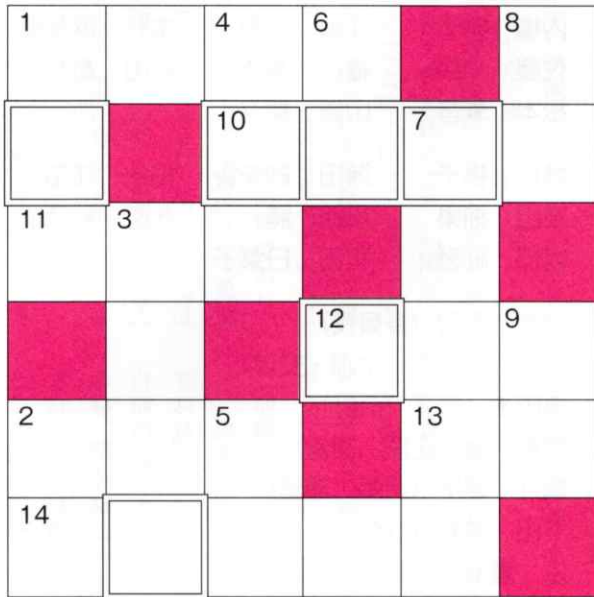
申し込み 同封のハガキ、または電話(0463-96-2272 総務部・杉山京子)にて  
10月10日(木)までにお申し込みください。

※成瀬仁蔵先生旧宅見学時、靴下をご持参ください。  
※ご参加は無料です。



## クロスワードパズル

二重枠の文字を組み合わせてできるカタカナ 6 文字の言葉は？



答え

### <タテのカギ>

1. ワインヤード(ぶどう畑)型、シューボックス(靴箱)型と二つの形があります。『コンサート000』
2. 上野動物園で2歳になった『私』の大好物です。
3. 松田聖子 6枚目のシングル『白い00000』
4. 政治家になりたいという000を抱く。
5. ディズニーキャラクターのチップとデールは、シマ00のコンビ。
6. スズキ目の海水魚メジナの地方名の一つ。
7. チャイコフスキー作曲の三大バレエの一つ。ホフマンの童話が原作。『00000人形』
8. 『ひらけ00』
9. かつては松井須磨子が演じた。イブセン戯曲「人形の家」の主人公『00』。

### <ヨコのカギ>

1. 0000された外国の小説を読む。
2. 『000座の女』は美川憲一の代表曲です。
10. 夏に美味しい冷たい食べ物。鹿児島発祥。
11. 000三世。
12. 並べる時は緊張します。パタパタ倒れていくのが楽しい遊びです。
13. 00をもつかもしい。
14. 紅色、ピンク、白色などの花を長く咲かせます。  
白い樹皮がツルツルと滑らかなことからこの名前になりました。

### <ヒント>

日本は0000000の東の終着点と呼ばれています。

【作成：鈴木裕子 (38 回生)】



- ◆解答を同封のハガキに書いて送ってください 正解者 10 名に図書カードを贈呈します。(正解者多数の場合は抽選)
- ◆前回の正解は<クレマチス>でした。 たくさんのご応募ありがとうございました。

### 【当選者】(敬称略・数字は回生)

畑 啓子 (9) 満岡芳美 (10) 吉野昌子 (28) 早坂美紀子 (38) 小川真理子 (43)  
杉下智子 (50) 宮城裕美子 (56) 武藤優香 (62) 小関愛美里 (66) 田中美紗 (66)



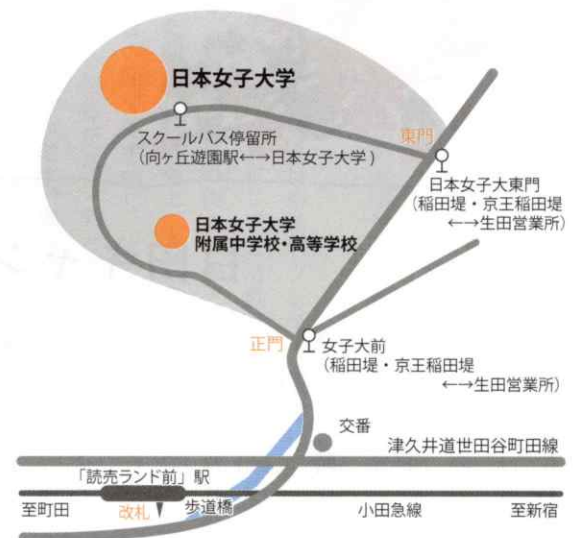
締め切り  
10月10日(木)  
必着

### 募集! クロスワードパズルを作ってみませんか?

ご興味のある方はぜひ、同封のハガキまたはHPでご連絡ください。

### 交通のご案内

- ◆小田急線 読売ランド前駅下車  
徒歩 15 分  
・新宿から急行 25 分 (向ヶ丘遊園乗り換え)  
・新宿から準急 30 分
- ◆小田急線 向ヶ丘遊園駅下車  
北口 3 番停留所よりスクールバス (所要時間約 15 分・無料)
- 京王線  
『京王稲田堤』駅下車/  
小田急バス (生田営業所行) 約 12 分/日本女子大東門または女子大前下車
- JR 南武線  
『稲田堤』駅下車/  
小田急バス (生田営業所行) 約 12 分/日本女子大東門または女子大前下車



### 編集後記

★7月より主人の転勤でロンドンに赴任しました。初めての海外子育て、子供のおかげで知り合いも増え、現地の生活を密に楽しんでいます。離れていても葦の発行に携われて嬉しいです。

★オリピックのチケット買えませんでした。もうひと頑張りする所存です。 星野ひろみ (37回生)

★クロスワードパズルを作成してくださる方、募集中です。今までの問題は難しいと思っている方、いやや簡単すぎるわと思っっている方、ぜひ挑戦してみてください。同封のハガキがホームページでのご連絡、お待ちしております。

石井美奈子 (38回生・会報編集部長)

年号表記の記載につきましては、原稿により、和暦と西暦があり、併用しています。

「葦」今号編集時点で、スクールバスの日女祭特別ダイヤは決定していません。ご乗車になられる方は、「日本女子大学」のホームページから「交通アクセス」→「西生田キャンパス」→「バス停・時刻表」とすすんでご確認ください。(教育学科の会のホームページではありませんのでご注意ください。)

※卒業生の方は西生田キャンパス入構・スクールバス乗車に際して、身分確認用として、「葦」送付時の封筒をご持参ください。